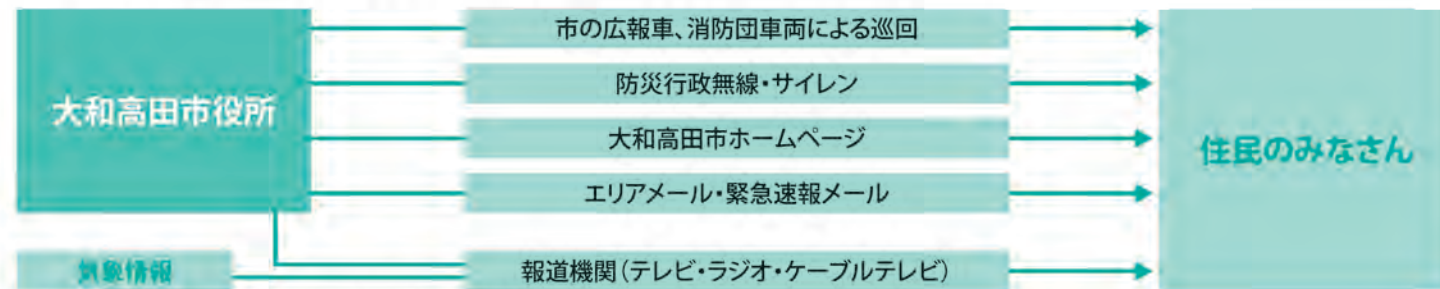


情報入手

情報の伝達手段

市からの避難情報は、下図のような手段で住民のみなさんに伝達されます。



※最新のデータは、大和高田市ホームページでご確認下さい。

●インターネットによる情報の入手先

日本気象協会 防災情報	https://tenki.jp/bousai/warn/	▶全国の気象警報・注意報や地震・津波・火山・台風情報が分かります。
気象庁 気象警報・注意報	https://www.jma.go.jp/jp/warn/	▶全国の気象警報・注意報や台風・津波・竜巻などの各種災害情報が分かります。
気象庁 レーダー・ナウキャスト	https://www.jma.go.jp/jp/radnowc/	▶全国の降雨状況や雷・竜巻の状況をリアルタイムで表示しています。
国土交通省 防災情報提供センター	http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/	▶リアルタイムの雨量、各種災害情報、各地のハザードマップを閲覧できます。
国土交通省 川の防災情報	https://www.river.go.jp/	▶河川に設置された観測所の雨量・水位を確認できます。

●テレビによる情報の入手例

❶NHK総合テレビを表示し、リモコンの「d(データ放送)」ボタンを押してください。

❷リモコンの矢印で「防災・生活情報」に合わせ、「決定」ボタンを押してください。

❸お住まいの市(テレビに設定している郵便番号で判定)から情報が発信されていれば、「避難情報(発表後1か月以内)」 「開設避難所(発表後1か月以内)」ボタンが赤くなるので、選択するとそれぞれの情報が表示されます。

※県内のどこの地域にも情報がない場合は、ボタンがグレーになります(選択できません)。



●エリアメール・緊急速報メール

エリアメール・緊急速報メールとは、気象庁からの緊急地震速報や市が災害・避難情報などを発信したときに、お持ちの携帯電話に対して、緊急災害情報を一斉配信するサービスです。受信時には専用の警告音で知らせ、いざという時の迅速な対応に役立ちます。

※事前の申込みは不要ですが、受信設定が必要な機種や、受信できない機種もありますので、詳細は各携帯電話会社へお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。



いざというときの連絡先

名 称	電話番号	名 称	電話番号
大和高田市役所	0745-22-1101		
高田警察署	0745-22-0110		
高田消防署	0745-25-0119		

防災は日頃の備えが大切です



大和高田市



保存版

取り出しやすい
場所に保管して
おきましょう

洪水・地震 ハザードマップ

令和5年3月改訂版

目 次

- 大雨時の情報…P1・2
- 水害への備え…P3
- 大雨時の避難…P4
- 洪水ハザードマップ…P5～16
- 地震への備え…P17
- 地震から身を守る…P18
- 地震ハザードマップ(東南海・南海地震)…P19・20
- 自然災害に備えて…P21
- 非常持ち出し品・備蓄品…P22

大雨・洪水に関する注意報・警報

下記のような場合、気象庁から「注意報」「警報」が発表されます。さらに、警報の発表基準をはるかに超える豪雨等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合、「特別警報」が発表され、最大限の警戒を呼び掛けます。
※「特別警報」が発表されない場合でも、甚大な被害が発生する可能性があります。

大雨・洪水注意報	大雨・洪水警報	大雨特別警報
災害が発生するおそれがある	重大な災害が発生するおそれがある	「警報」よりもはるかに高い危険度
大雨 大雨により、浸水災害や土砂災害などが発生するおそれがあると予想したときに発表。	大雨 大雨により、 重大な浸水災害や重大な土砂災害 などが発生するおそれがあると予想したときに発表。	大雨 台風や集中豪雨により 数十年に一度の降雨量 となる大雨が予想され、もしくは、 数十年に一度の強度 の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想したときに発表。
洪水 大雨、長雨、融雪などにより、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による災害が発生するおそれがあると予想したときに発表。	洪水 大雨、長雨、融雪などにより、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による 重大な災害 が発生するおそれがあると予想したときに発表。	「洪水」は、全国約400の河川において指定河川洪水予報を発表しているため、特別警報の設定はありません。

▶記録的短時間大雨情報

数年に一度しかないような、短時間の猛烈な雨が観測された場合には、気象台から、「記録的短時間大雨情報」が発表されます。この情報が発表された地域では、周囲の状況や雨の降り方に注意し、少しでも危険を感じた時はすぐに安全な場所へ避難しましょう。

警戒レベル・避難情報・避難行動

令和3年5月20日、災害対策基本法が改正され、市が発令する避難情報が大きく変わりました。各避難情報の意義がより明確になりました。各避難情報及び警戒レベルに応じた適切な行動をとるようにしてください。

警戒レベル	災害気象情報 (気象庁が発表)	避難情報	とるべき行動
警戒 レベル5	大雨特別警報 氾濫発生情報	緊急安全確保	すでに災害が発生している状況です 命を守るための最善の行動をとりましょう。 また、この段階では安全な避難が難しい場合があるため、レベル3・レベル4の段階で安全に避難を終えましょう。
警戒 レベル4	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報	避難指示	いますぐ安全な場所へ全員避難 速やかに避難場所へ避難しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
警戒 レベル3	大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報	高齢者等避難	高齢者や要介護者等は避難 高齢者、障がいのある方等、避難に時間のかかる方とその支援者は避難を開始しましょう。 その他の方は、避難の準備を整えましょう。
警戒 レベル2	大雨注意報 洪水注意報等		ハザードマップなどで避難行動を確認しましょう 災害の危険性のある区域、避難場所、避難経路、避難のタイミングを確認してください。
警戒 レベル1	早期注意報		最新の防災気象情報などを確認しましょう 災害への心構えを高めてください。

河川の水位情報

本市を流れる主要4河川(高田川、葛下川、葛城川および曾我川)では、要点に開設された数か所の水位観測所において継続的に水位観測が行われており、避難情報の発令における判断資料としても活用しています。
※観測値の確認については、裏表紙を参照。

水位の名称等	避難情報の種類	高田川 磐築橋	葛下川 瓦口	葛城川 曲川	曾我川 曾我
氾濫危険水位 氾濫が起こる可能性がある水位	避難指示 の目安	3.0	1.7	2.9	3.6
避難判断水位 避難の目安になる水位	高齢者等避難 の目安	2.6	1.2	2.5	2.9
氾濫注意水位 水防団が出動する目安になる水位	発表なし	2.6	1.1	2.4	2.6
水防団待機水位 水防団が準備する目安になる水位	発表なし	1.8	0.6	1.9	1.3
ふだんの水位					

単位(m)

雨の強さ・降り方と災害の危険性等

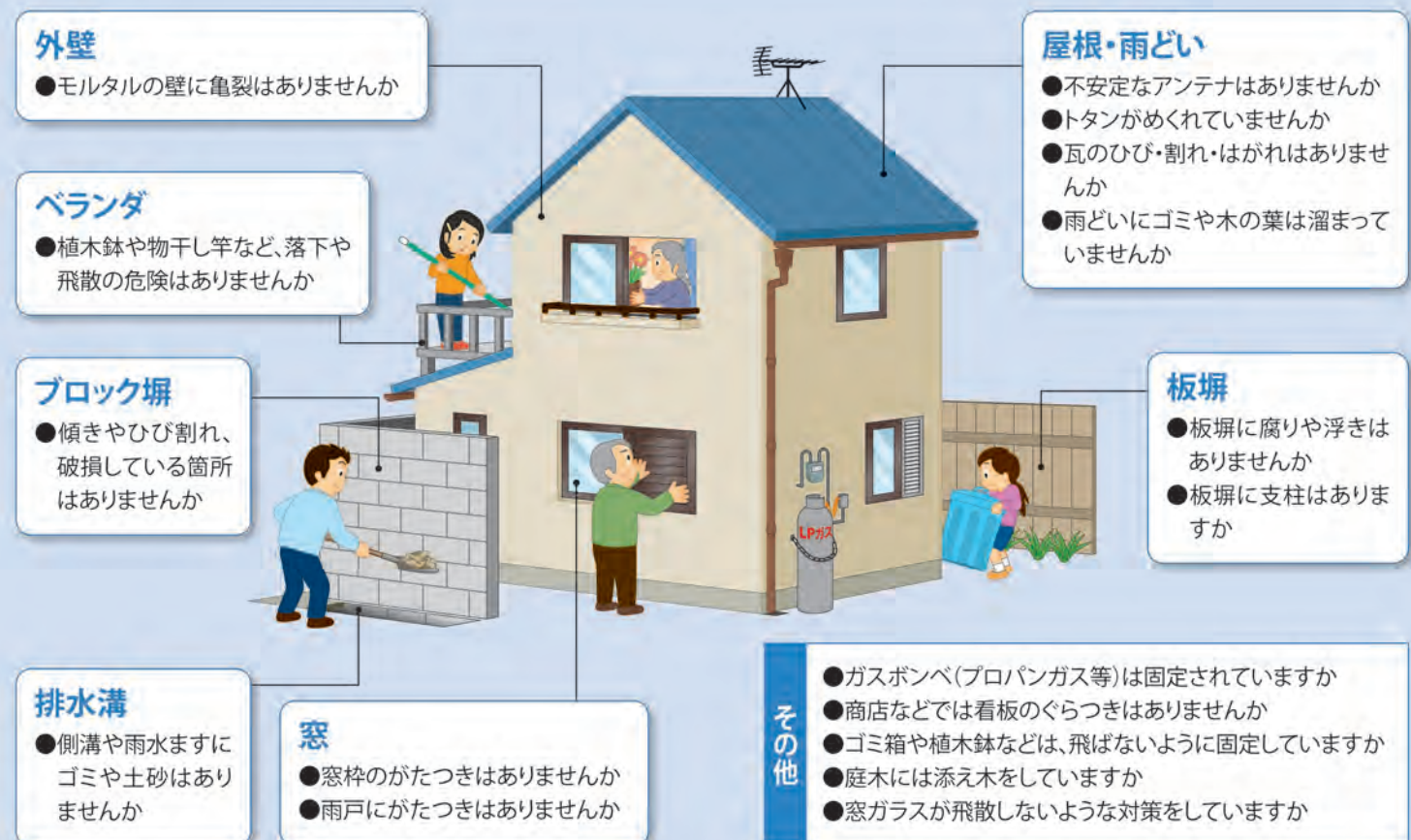
	やや強い雨 10～20mm未満	強い雨 20～30mm未満	激しい雨 30～50mm未満	非常に激しい雨 50～80mm未満	猛烈な雨 80mm以上
1時間雨量と 予 報 用 語					
人の受ける イ メ ージ	ザーザーと降る。	どしゃ降り。	バケツをひっくり返したように降る。	滝のように降る。 (ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような 圧迫感がある。 恐怖を感じる。
人への影響と 屋外の様子	地面からはね返り で足もとがぬれる。	傘をさしていてもぬ れる。 車の場合、ワイパーを 速くしても見づらい。	道路が川のように なる。	傘はまったく役に立たなくなる。 水しぶきで、あたり一面が白っぽくなり、視界 が悪くなる。	
災害の危険性	この程度の雨でも、 長く続くときは注意 が必要。	側溝や水路、小さな 川があふれ、道路冠 水のおそれがある。 小規模のがけ崩れ のおそれがある。	山崩れ、がけ崩れが 起きやすくなり、危 険地帯では避難が 必要。	土石流が起こりや すい。 多くの災害が発生 する。	雨による大規模な 災害の発生するお それが強く、嚴重な 警戒が必要。

▶長時間の降雨に注意しましょう

長時間の雨を降らせるものとして、**線状降水帯**があります。線状降水帯とは、激しい雨を降らせる積乱雲が連続して発生し、線状に並ぶものをいいます。数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞するため、激しい雨が長時間降り続けます。

家屋の被害を抑える

台風や大雨などによる被害を最小限にとどめるために、日頃から家屋やその周囲の点検・修理・補強を行い、十分な風水害対策を講じておきましょう。



家庭でできる簡易水防

浸水が浅い場合には、土のう(ない場合は水のう)を設置することで、水が建物へ浸入するのを防げます。簡易的な措置として、植栽用プランターや石油用ポリタンク、長めの板(はしごやテーブルでも可)などを、ビニールシートで包んで設置してもよいでしょう。道路よりも建物が低い場合や、地下室がある場合などは、止水板を設置しておく、より効果的です。



簡易水防工法例①
プランター+ビニールシート

土を入れたプランターをビニールシートで巻き込んだものを使用し、浸水を防ぎます。



簡易水防工法例②
簡易水のう+止水板

簡易水のうを作り、長めの板などと組み合わせて出入り口に設置し、浸水を防ぎます。

「簡易水のう」の作り方



家庭で使用しているごみ袋(40リットル程度の容量)を二重にして、中に半分程度の水を入れて閉めます。

避難の心得

いざというときのために、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。また災害の危険性が想定された場合には、積極的に情報を入手して、早めの避難を心がけましょう。



状況により、すばやく避難しましょう

避難情報が発表されていなくても、状況などから判断し自主的に避難しましょう。



住所、氏名、連絡先などを記載した防災メモを持とう

特に高齢者や子どもは、事前にメモを用意し、身につけて避難しましょう。



車での避難は控えて

車は、約30cmの浸水で走行困難になります。車での避難は避けましょう。



持ち出し品は最小限に

非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。



外出中の家族には連絡メモを残そう

「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておくとい良いでしょう。



集団で助け合おう

単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。



安全なルートで避難

川べり、地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。



避難所では係の人の指示に従いましょう

避難所に着いたら、住所、氏名を報告しましょう。

水平避難と垂直避難

災害では早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければいけません。そのような場合は、遠くにある安全な場所への移動(水平避難)だけでなく、近隣の高い建物や自宅の2階といった高い場所への移動(垂直避難)を行うという判断も必要です。



浸水後の避難 やむを得ず移動する場合は…



歩ける深さ

浸水時に歩ける深さは膝くらいまで。腰まで浸かって歩くと体力を消耗します。また、水深20cm位でも、流れが速い場合は危険を伴うことがあるので注意が必要です。



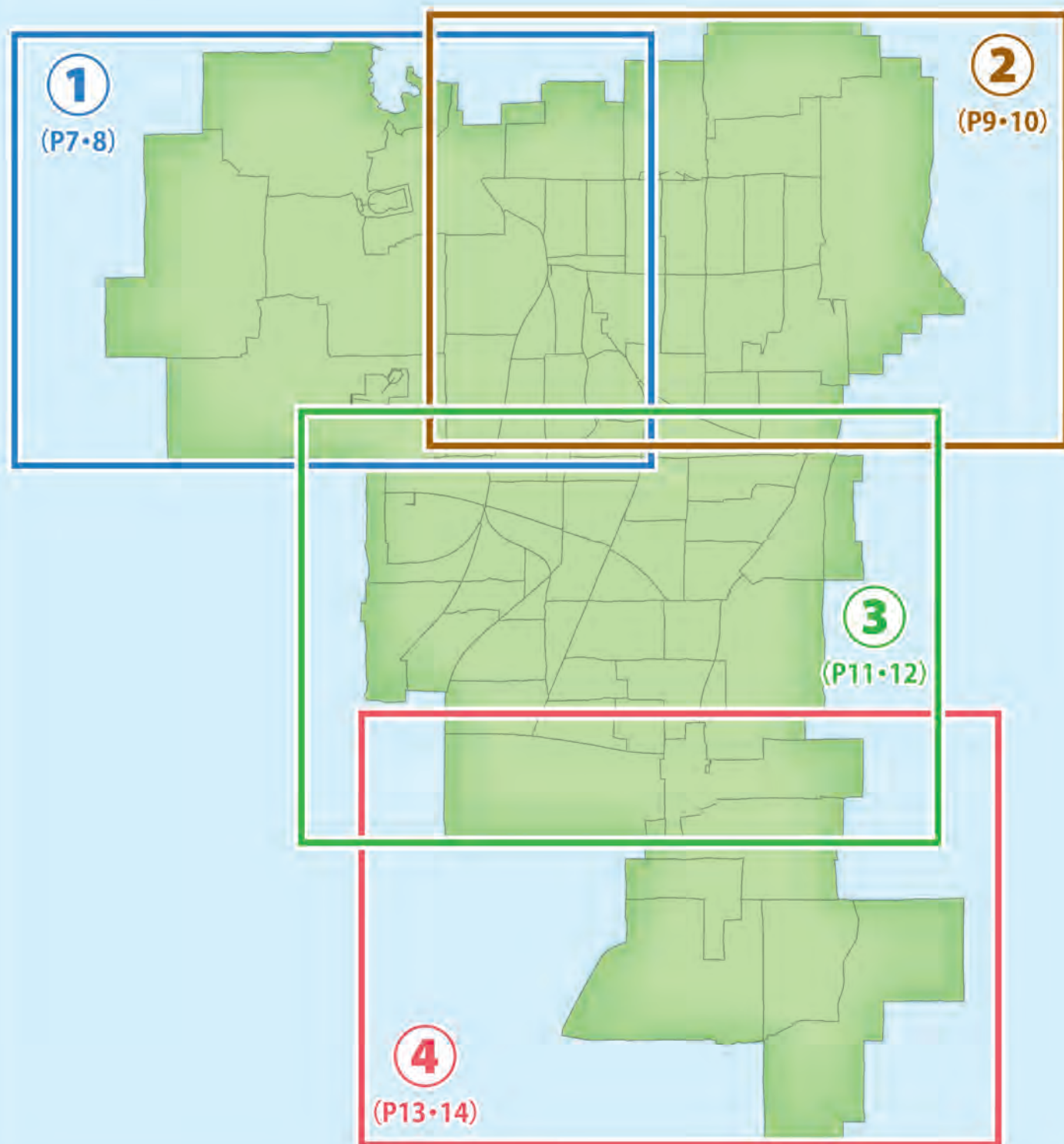
足もとに注意

浸水により足もとが見えにくくなることで、道路と側溝や水路等の区別がつかなくなります。長い棒などで深い場所がないか安全を確認しながら歩きましょう。

洪水ハザードマップ

- この洪水ハザードマップは大雨によって市内及び周辺の主要な河川(高田川、葛下川、葛城川、曾我川)の堤防が決壊したり、河川の水が堤防を越えたりした場合に想定される浸水範囲、浸水深などを示した地図です。
- 計画規模降雨(P7~14)と想定最大規模降雨(P15・16)の2種類の浸水想定区域図(平成31年3月26日奈良県告示)に基づいて作成しています。
- このマップを利用して、日頃から洪水に対して備え、洪水時の安全な避難行動に役立てましょう。

洪水ハザードマップ(計画規模降雨)索引図



●洪水時に使用できる指定緊急避難場所、指定避難所一覧

No.	施設名	所在地	電話番号	指定緊急避難場所	指定避難所
1	総合福祉会館(ゆうゆうセンター)	大字池田418-1	0745-23-0789	○	○
2	武道館	幸町11-14	0745-23-6100	○	○
3	葛城コミュニティセンター	大字曾大根783-1	0745-23-8001	○	○
4	片塩小学校	旭北町2-1	0745-22-0151	○	
5	高田小学校	大中東町5-15	0745-22-0251	○	
6	土庫小学校	土庫3-2-61	0745-22-0351	○	
7	浮孔小学校	中三倉堂2-5-43	0745-22-0451	○	
8	磐園小学校	大字有井1	0745-22-0551	○	
9	陵西小学校	大字池田3	0745-22-0651	○	○
10	菅原小学校	大字根成柿436	0745-22-0751	○	
11	浮孔西小学校	曾大根1-5-1	0745-53-0313	○	
12	高田中学校	大中東町5-48	0745-22-0851	○	
13	片塩中学校	中三倉堂2-9-28	0745-22-0951	○	
14	高田西中学校	大字池田330	0745-22-7851	○	○
15	市立高田商業高等学校	材木町8-3	0745-22-2251	○	
16	【使用不可】県立高田高等学校	磯野東町6-6	0745-22-0123		
17	文化会館(さざんかホール)	本郷町6-36	0745-53-8200	○	○
18	総合公園コミュニティプール	大字西坊城414	0745-52-4700	○	
19	【使用不可】菅原公民館	大字吉井77-1	0745-23-3561		
20	勤労青少年ホーム	大字野口20-1	0745-22-6045	○	○

※浸水想定区域の見直しにより、「16.県立高田高等学校」、「19.菅原公民館」は洪水時の指定緊急避難場所及び指定避難所ではなくなりました。
※各避難施設は、災害発生の可能性及び災害発生時の状況に応じて、○の施設の中から、適宜に開設します。実際の開設状況は、市のホームページ等により確認してください。

●指定緊急避難場所

緊急時に一時的に避難する場所

災害が発生し、または発生するおそれがある場合に、速やかにその危険から逃れ自らの生命を守るために、一時緊急的に避難する場所として、災害の種別ごとに市が指定する施設です。



●指定避難所

一定期間滞在できる場所

災害時、避難した方が災害の危険性がなくなるまでの間に滞在し、または災害による被害で家に戻れなくなった方が一定期間その生活のために滞在する、市が指定する施設です。

●避難施設3つのマナー ※感染症対策にも十分注意しましょう

ゆずりあい

避難施設はみんなで使うところです。限られたスペースしかありません。トイレの順番などできるだけゆずり合いましょう。



おもいやり

避難施設では大きな声を出したり、走り回ったりすると、まわりの人たちの迷惑になります。お互いにおもいやりの気持ちで、過ごしましょう。



たすけあい

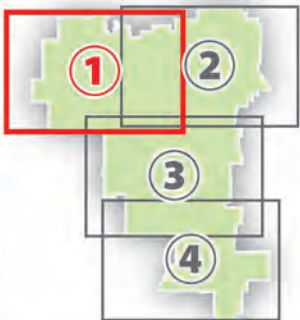
ケガをしている人や体の不自由な人、また、病気の人なども避難施設には集まります。みんなが少しでも快適に過ごせるように助け合いましょう。



洪水ハザードマップ

計画規模降雨①

案内図



凡例

施設等

- 指定緊急避難場所兼指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 警察署・交番・駐在所
- 消防署
- 消防団詰所
- 災害拠点病院
- 市関連施設
- 防災無線
- 水位計
- 冠水危険箇所(地下道・アンダーパス)

鉄道・道路

- 高田橋 交差点
- 緊急輸送道路
- 鉄道

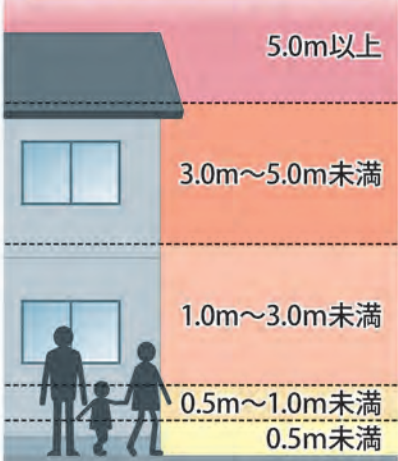
浸水深

- 5.0m以上
- 3.0m～5.0m未満
- 1.0m～3.0m未満
- 0.5m～1.0m未満
- 0.5m未満



S=1:10,000
0 100 200 300m

浸水深の目安



計画規模降雨とは、概ね50年に1度発生
する確率の大雨であり、このマップでは、高
田川・葛下川・葛城川・曾我川に24時間総
雨量195mm、ピーク時の1時間に69mm
の降雨があるとしてシミュレーションされ
た洪水の浸水想定区域を示しています。

洪水時の指定緊急避難場所・指定避難所一覧

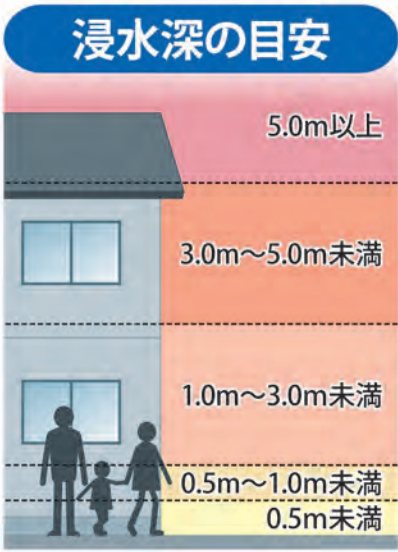
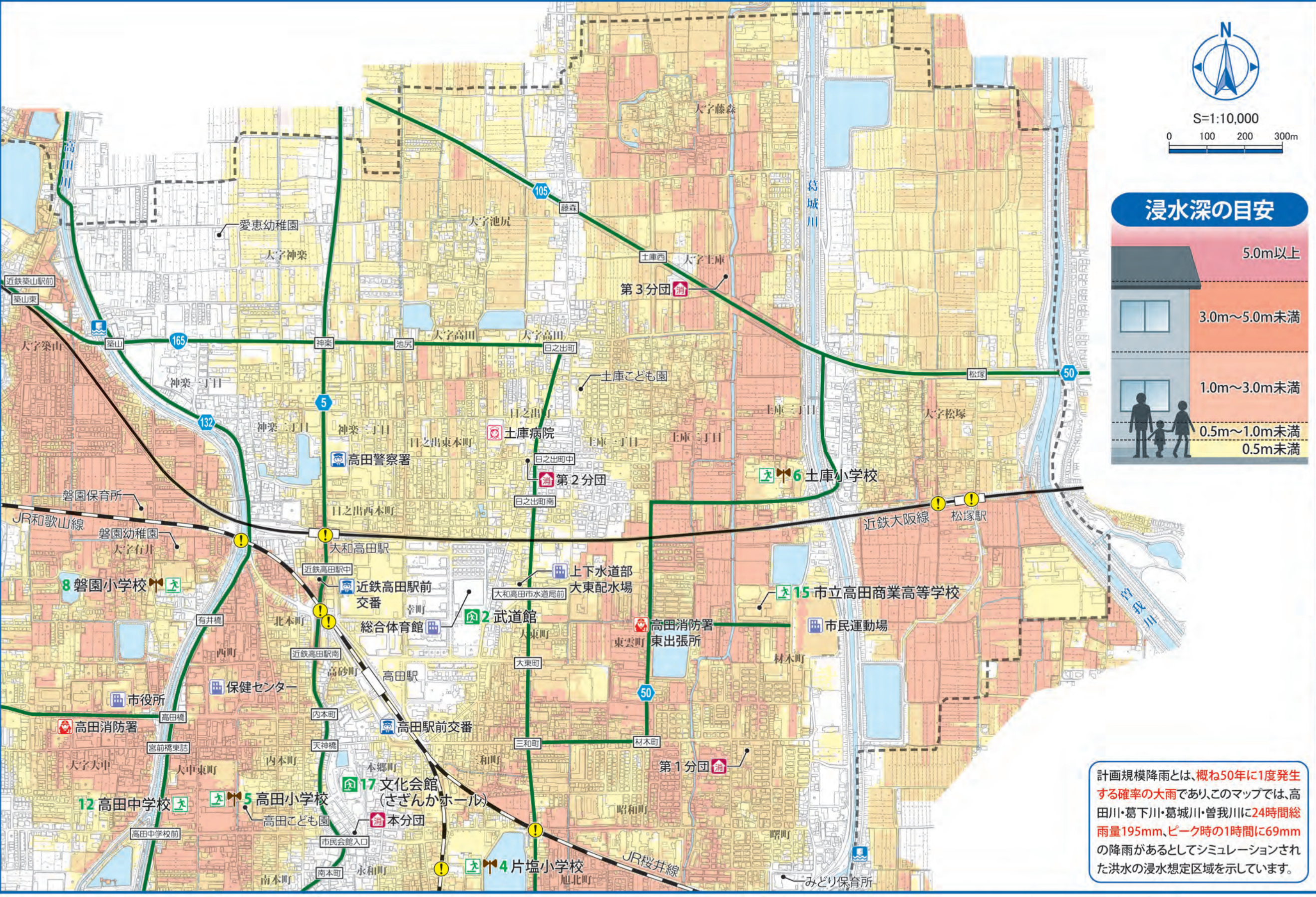
指定緊急避難場所…災害が発生し、または発生するおそれがある場合
に、速やかにその危険から逃れ自らの生命を守るために、一時緊急的に
避難する場所として、災害の種別ごとに市が指定する施設です。

指定避難所…災害時、避難した方が災害の危険性がなくなるまでの間
に滞在し、または災害による被害で家に戻れなくなった方が一定期間
その生活のために滞在する、市が指定する施設です。

No.	施設名	住所	電話番号	指定緊急 避難場所	指定 避難所
1	総合福祉会館(ゆうゆうセンター)	大字池田 418-1	0745-23-0789	○	○
5	高田小学校	大中東町 5-15	0745-22-0251	○	
8	磐園小学校	大字有井 1	0745-22-0551	○	
9	陵西小学校	大字池田 3	0745-22-0651	○	○

No.	施設名	住所	電話番号	指定緊急 避難場所	指定 避難所
12	高田中学校	大中東町 5-48	0745-22-0851	○	
14	高田西中学校	大字池田 330	0745-22-7851	○	○
17	文化会館(さざんかホール)	本郷町 6-36	0745-53-8200	○	○
20	勤労青少年ホーム	大字野口 20-1	0745-22-6045	○	○

※このマップで示した浸水想定区
域以外でも浸水が発生する場
合や、想定される浸水深が実際
の浸水深と異なる場合があります。
ので、ご注意ください。



計画規模降雨とは、概ね50年に1度発生
する確率の大雨であり、このマップでは、高
田川・葛下川・葛城川・曾我川に24時間総
雨量195mm、ピーク時の1時間に69mm
の降雨があるとしてシミュレーションされ
た洪水の浸水想定区域を示しています。

洪水ハザードマップ

計画規模降雨②

案内図



凡例

- #### 施設等
- 指定緊急避難場所 兼 指定避難所
 - 指定緊急避難場所
 - 警察署・交番・駐在所
 - 消防署
 - 消防団詰所
 - 災害拠点病院
 - 市関連施設
 - 防災無線
 - 水位計
 - 冠水危険箇所(地下道・アンダーパス)

- #### 鉄道・道路
- 高田橋 交差点
 - 緊急輸送道路
 - 鉄道

- #### 浸水深
- 5.0m以上
 - 3.0m～5.0m未満
 - 1.0m～3.0m未満
 - 0.5m～1.0m未満
 - 0.5m未満

洪水時の指定緊急避難場所・指定避難所一覧

指定緊急避難場所…災害が発生し、または発生するおそれがある場合に、速やかにその危険から逃れ自らの生命を守るために、一時緊急的に避難する場所として、災害の種別ごとに市が指定する施設です。

指定避難所…災害時、避難した方が災害の危険性がなくなるまでの間に滞在し、または災害による被害で家に戻れなくなった方が一定期間その生活のために滞在する、市が指定する施設です。

No.	施設名	住 所	電話番号	指定緊急 避難場所	指定 避難所
2	武道館	幸町 11-14	0745-23-6100	○	○
4	片塩小学校	旭北町 2-1	0745-22-0151	○	
5	高田小学校	大中東町 5-15	0745-22-0251	○	
6	土庫小学校	土庫 3-2-61	0745-22-0351	○	

No.	施設名	住 所	電話番号	指定緊急 避難場所	指定 避難所
8	磐園小学校	大字有井 1	0745-22-0551	○	
12	高田中学校	大中東町 5-48	0745-22-0851	○	
15	市立高田商業高等学校	材木町 8-3	0745-22-2251	○	
17	文化会館(さざんかホール)	本郷町 6-36	0745-53-8200	○	○

※このマップで示した浸水想定区
域以外でも浸水が発生する場合や、想定される浸水深が実際の
浸水深と異なる場合がありますので、ご注意ください。

洪水ハザードマップ

計画規模降雨③

案内図



凡例

施設等

- 指定緊急避難場所兼指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 警察署・交番・駐在所
- 消防署
- 消防団詰所
- 災害拠点病院
- 市関連施設
- 防災無線
- 水位計
- 冠水危険箇所(地下道・アンダーパス)

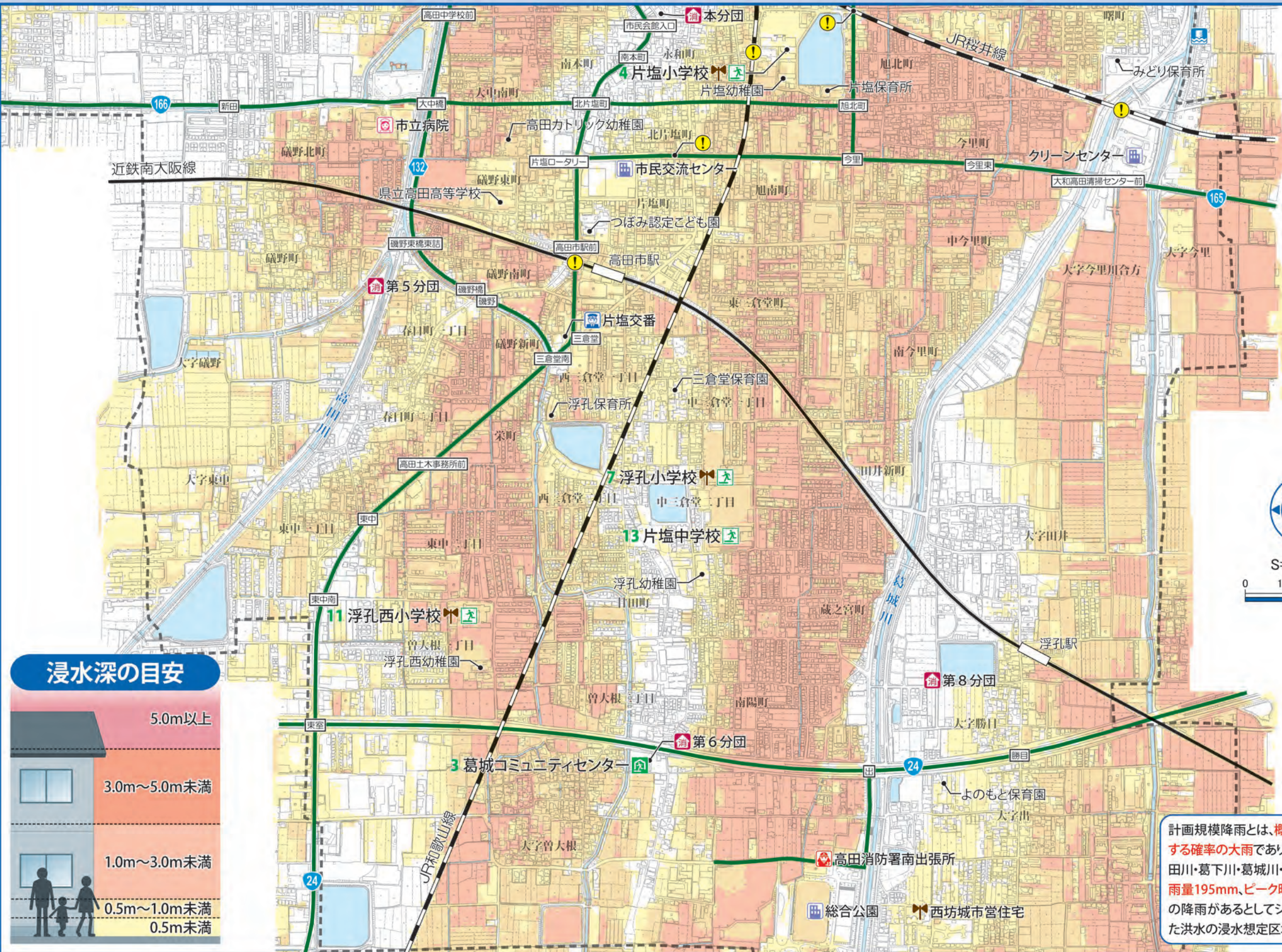
鉄道・道路

- 高田橋 交差点
- 緊急輸送道路
- 鉄道

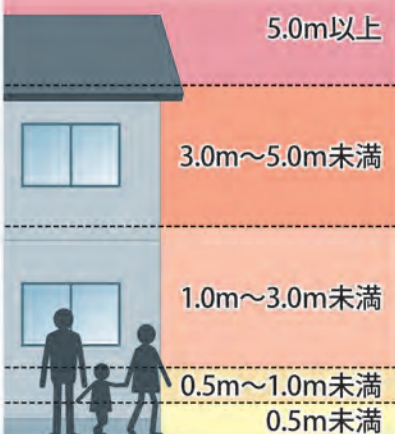
浸水深

- 5.0m以上
- 3.0m～5.0m未満
- 1.0m～3.0m未満
- 0.5m～1.0m未満
- 0.5m未満

計画規模降雨とは、概ね50年に1度発生
する確率の大雨であり、このマップでは、高
田川・葛下川・葛城川・曾我川に24時間総
雨量195mm、ピーク時の1時間に69mm
の降雨があるとしてシミュレーションされ
た洪水の浸水想定区域を示しています。



浸水深の目安



洪水時の指定緊急避難場所・指定避難所一覧

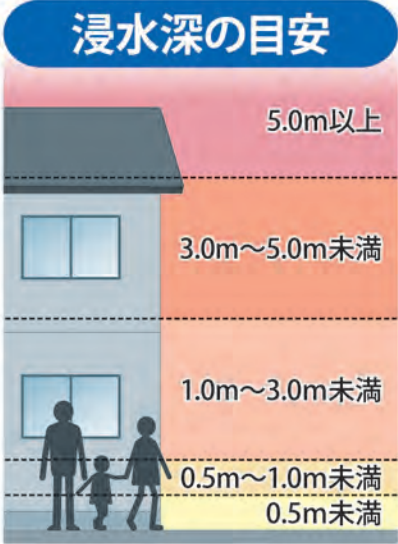
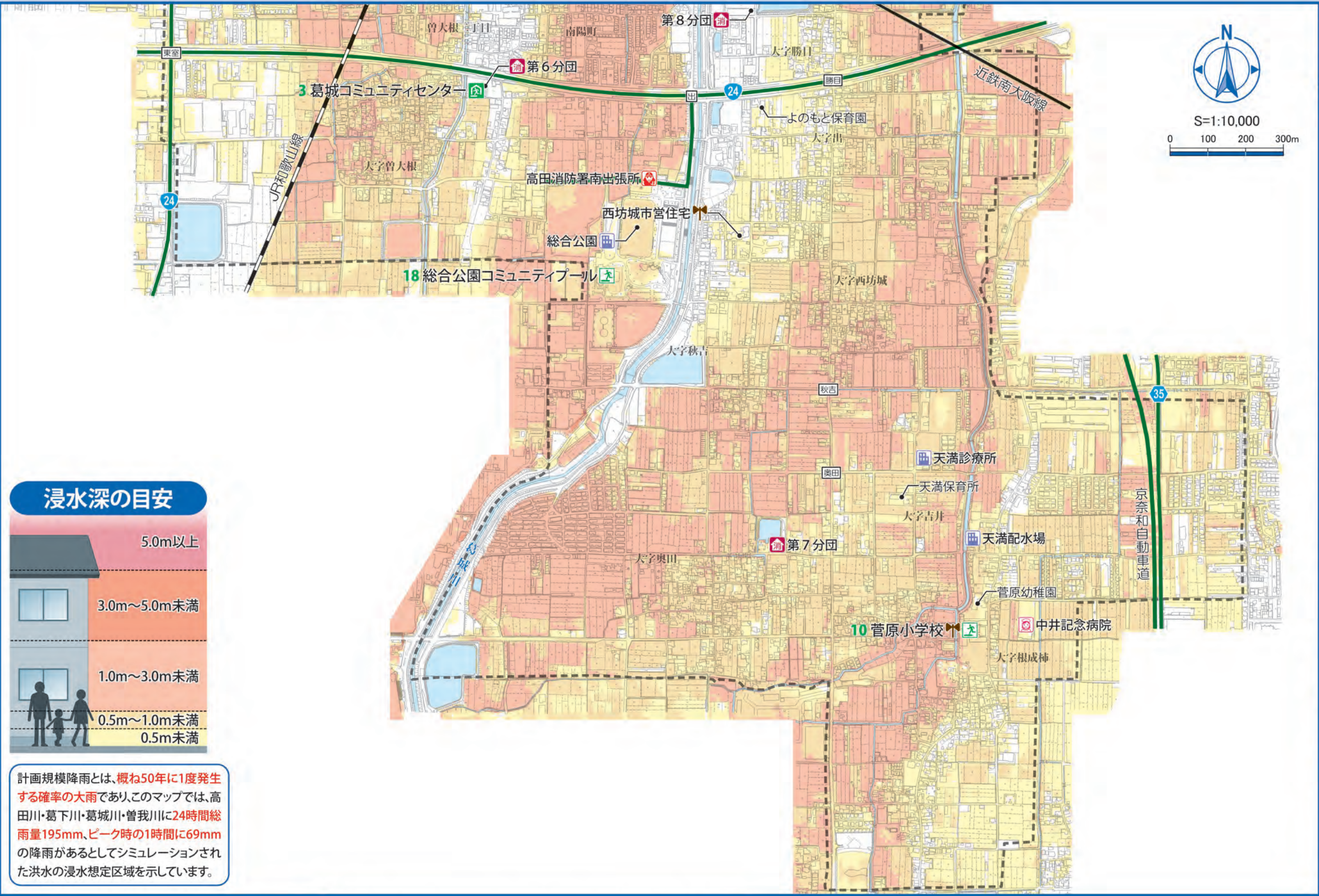
指定緊急避難場所…災害が発生し、または発生するおそれがある場合に、速やかにその危険から逃れ自らの生命を守るために、一時緊急的に避難する場所として、災害の種別ごとに市が指定する施設です。

指定避難所…災害時、避難した方が災害の危険性がなくなるまでの間に滞在し、または災害による被害で家に戻れなくなった方が一定期間その生活のために滞在する、市が指定する施設です。

No.	施設名	住所	電話番号	指定緊急避難場所	指定避難所
3	葛城コミュニティセンター	大字曾大根 783-1	0745-23-8001	○	○
4	片塩小学校	旭北町 2-1	0745-22-0151	○	
7	浮孔小学校	中三倉堂 2-5-43	0745-22-0451	○	
11	浮孔西小学校	曾大根 1-5-1	0745-53-0313	○	

No.	施設名	住所	電話番号	指定緊急避難場所	指定避難所
13	片塩中学校	中三倉堂 2-9-28	0745-22-0951	○	

※このマップで示した浸水想定区域以外でも浸水が発生する場合や、想定される浸水深が実際の浸水深と異なる場合がありますので、ご注意ください。



計画規模降雨とは、概ね50年に1度発生
する確率の大雨であり、このマップでは、高
田川・葛下川・葛城川・曾我川に24時間総
雨量195mm、ピーク時の1時間に69mm
の降雨があるとしてシミュレーションされ
た洪水の浸水想定区域を示しています。

洪水時の指定緊急避難場所・指定避難所一覧

指定緊急避難場所…災害が発生し、または発生するおそれがある場合に、速やかにその危険から逃れ自らの生命を守るために、一時緊急的に避難する場所として、災害の種別ごとに市が指定する施設です。

指定避難所…災害時、避難した方が災害の危険性がなくなるまでの間に滞在し、または災害による被害で家に戻れなくなった方が一定期間その生活のために滞在する、市が指定する施設です。

No.	施設名	住 所	電話番号	指定緊急 避難場所	指定 避難所
3	葛城コミュニティセンター	大字曾大根 783-1	0745-23-8001	○	○
10	菅原小学校	大字根成柿 436	0745-22-0751	○	
18	総合公園コミュニティプール	大字西坊城 414	0745-52-4700	○	

洪水ハザードマップ

計画規模降雨④

案内図



凡例

施設等

- 指定緊急避難場所 兼 指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 警察署・交番・駐在所
- 消防署
- 消防団詰所
- 災害拠点病院
- 市関連施設
- 防災無線
- 水位計
- 冠水危険箇所(地下道・アンダーパス)

鉄道・道路

- 高田橋 交差点
- 緊急輸送道路
- 鉄道

浸水深

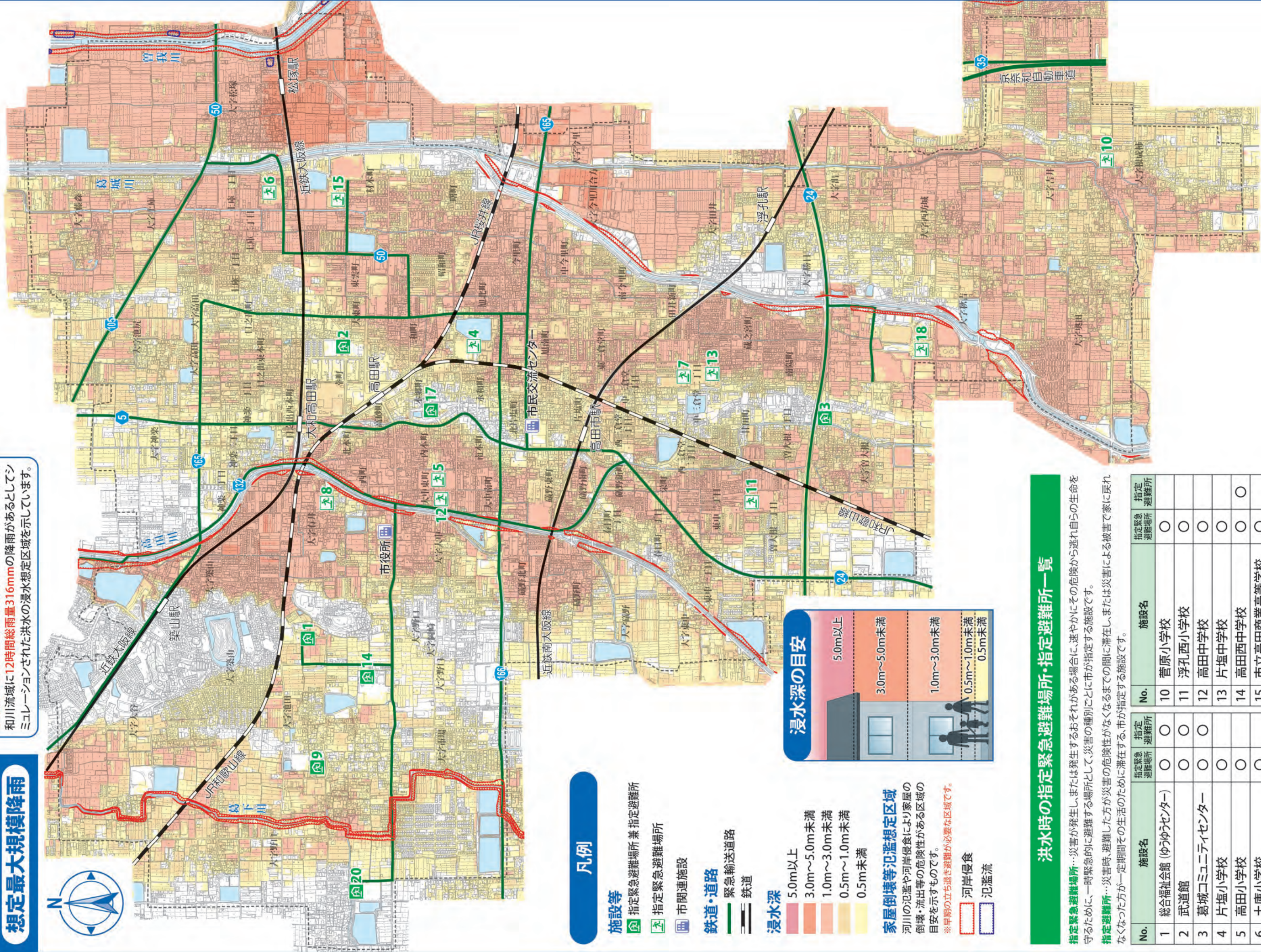
- 5.0m以上
- 3.0m～5.0m未満
- 1.0m～3.0m未満
- 0.5m～1.0m未満
- 0.5m未満

※このマップで示した浸水想定区域以外でも浸水が発生する場合や、想定される浸水深が実際の浸水深と異なる場合がありますので、ご注意ください。

洪水ハザードマップ

想定最大規模降雨

想定最大規模降雨とは、概ね1000年に1度発生する確率で、想定し得る最大規模の大雨であり、このマップでは、大和川流域に12時間総雨量316mmの降雨があるとしてシミュレーションされた洪水の浸水想定区域を示しています。



凡例

施設等

- 指定緊急避難場所兼 指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 市関連施設

鉄道・道路

- 緊急輸送道路
- 鉄道

浸水深

- 5.0m以上
- 3.0m～5.0m未満
- 1.0m～3.0m未満
- 0.5m～1.0m未満
- 0.5m未満

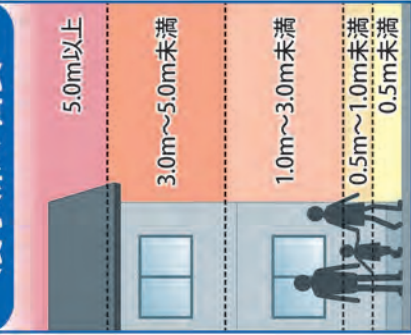
家屋倒壊等氾濫想定区域

河川の氾濫や河岸侵食により家屋の倒壊、流出等の危険性がある区域の目安を示すものです。

※早期の立ち退き避難が必要な区域です。

- 河岸侵食
- 氾濫流

浸水深の目安

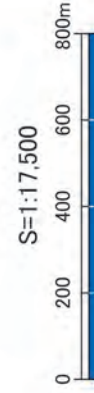


洪水時の指定緊急避難場所・指定避難所一覧

指定緊急避難場所…災害が発生し、または発生するおそれがある場合に、速やかにその危険から逃れ自らの生命を守るために、一時緊急的に避難する場所として、災害の種別ごとに市が指定する施設です。

指定避難所…災害時、避難した方が災害の危険性がなくなるまでの間に滞在し、または災害による被害で家に戻れなくなった方が一定期間その生活のために滞在する、市が指定する施設です。

No.	施設名	指定 緊急 避難場所	指定 避難所
1	総合福祉会館 (ゆうゆうセンター)	○	○
2	武道館	○	○
3	葛城コミュニティセンター	○	○
4	片塩小学校	○	○
5	高田小学校	○	○
6	土庫小学校	○	○
7	浮孔小学校	○	○
8	磐園小学校	○	○
9	陵西小学校	○	○
10	菅原小学校	○	○
11	浮孔西小学校	○	○
12	高田中学校	○	○
13	片塩中学校	○	○
14	高田西中学校	○	○
15	市立高田商業高等学校	○	○
17	文化会館 (ざんかホール)	○	○
18	総合公園コミュニティプール	○	○
20	勤労青少年ホーム	○	○



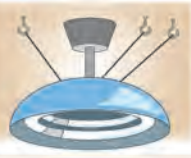
屋内の安全対策

地震で建物が倒壊しなくても、家具の転倒やガラスの飛散等により、大きなケガをしたり逃げ場をふさがれたりします。事前に家具などの固定や配置方法の工夫を行い、屋内の安全性を高めておきましょう。



■収納に工夫を

- タンスや本棚などにもものを入れる場合は、重いものは下に、軽いものは上に収納するようにします。
- 本棚は隙間をブックエンドで固定するなど、なるべく空間を作らないようにしましょう。



■照明器具の補強を

- 吊り下げ式蛍光灯は、チェーンなどで止めておきましょう。



■置き方に工夫を

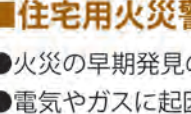
- 家具の下部の前方に転倒防止のビニール樹脂状のものを入れ、壁にもたれ気味にします。
- 出入口や通路には、なるべく荷物を置かないようにしましょう。
- 就寝場所に家具が倒れてこないように、配置の工夫を。

地震のときに家具などが就寝部分に倒れたり、避難経路をふさぐ位置に配置されていませんか？



■ガラスの飛散防止を

- 割れたガラスが飛び散るのを防ぐため、ガラス飛散防止フィルムを貼りましょう。



■住宅用火災警報器、感震ブレーカーなどの防災機器を設置しよう

- 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を設置しておきましょう。
- 電気やガスに起因する火災発生防止のため感震ブレーカーなどを設置しておきましょう。



■耐震金具を利用しよう

転倒防止金具

壁・柱・鴨居と家具を固定するタイプと、床などに固定するタイプがあります。家具や室内の状況によって使い分けましょう。

重ね留め用金具

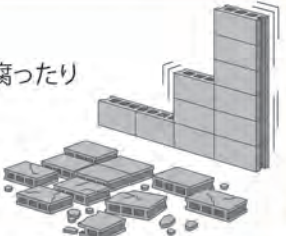
重ねた上下の家具を固定し、上の家具の落下を防ぎます。

扉・引き出し開放防止金具

地震発生時に、扉・引き出しが開かないように固定します。さらに、収納物の落下を防止するために棚板にふきんを置いたり、木やアルミ棒による飛び出し防止枠をつけると安心です。

屋外の安全対策

事前に家の周りを点検し、屋外の安全性を高めておきましょう。



■壁・塀

- 壁や塀にひび割れなどがなく、腐ったりしていないか点検しましょう。
- ブロック塀は、地震の揺れにより崩れる可能性があるため、できれば安全な生垣などにしましょう。



■ガスボンベ

- ガスボンベは、動かないように壁等に固定しましょう。
- ガスボンベの周りには、物を置かないようにしましょう。

緊急地震速報を見聞きしたら

「緊急地震速報」は、最大震度が5弱以上と予想された場合に、震度4以上が予想される地域を対象に消防庁からのメール、報道機関からテレビ・ラジオなどを通じてみなさまに伝えられます。この「緊急地震速報」を見聞きしてから数秒～数十秒後に強い揺れが始まりますので、この間に身を守るための行動をとる必要があります。ただし、震源域に近い地域では「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。



屋内では…

- 頭を保護し、丈夫な机の下などに隠れる。
- あわてて外へ飛び出さない。



屋外では…

- ブロック塀等の倒壊に注意する。
- 看板や割れたガラスの落下に注意し、建物のそばから離れる。



車の運転中は…

- あわててブレーキをかけない。
- ハザードランプを点灯し、路肩に寄せてゆっくり停止する。



山やがけ付近では…

- 落石やがけ崩れに注意する。



人が大勢いる施設では…

- 係員の指示に従う。
- 落ち着いて行動する。
- あわてて出口に走り出さない。



エレベーターでは…

- 全ての階のボタンを押して、停止した階で、すぐに降りる。

地震が起きたとき、とるべき行動

地震発生時には、あわてずに、まず身の安全を確保しましょう。

地震発生！

自分の命は自分で守る

- 「頭を保護する」「大きな家具から離れる」「丈夫な机の下に隠れる」など、落ち着いて自分の身を守る。
- ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する。

1～5分

家族を守る

- 揺れが収まってから行動する。
- 家族の安全を確認する。
- 火の元を確認・初期消火。
- 足をケガしないように靴をはく。
- 非常持ち出し品等を手元に用意する。
- 余震に注意。

5～10分

地域を守る

- 隣近所の安全を確認。
- 安全な場所に移動してから、防災無線やラジオなどで情報を確認する。
- 電気のブレーカーを切る・ガスの元栓を閉める。
※復旧時の火災・事故を防ぐため
- 家屋倒壊などのおそれがあれば避難する。

10分～数時間後

避難生活

助け合いの心で…

- 協力して消火・救出活動。
- 水・食料は備蓄品でまかなう。
- 災害情報、被害情報の収集。
- 壊れた家には入らない。
- 引き続き余震に注意。
- 避難所では集団生活のルールを守る。

地震ハザードマップ^①（東南海・南海地震）

この地震ハザードマップは、大和高田市に大きな影響を及ぼす可能性のある地震の中でも、発生確率が高いとされる東南海・南海地震の予想震度を示したものです。

震度分布図

震度7

- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。

震度6強

- はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

震度6弱

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

震度5強

- 物につかまらなと歩くことが難しい。
- 棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる。
- 固定していない家具が倒れることがある。
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。

震度階級

- 震度6強
- 震度6弱

凡例

施設等

- 指定緊急避難場所兼指定避難所

鉄道・道路

- 緊急輸送道路
- 鉄道

●地震時に使用できる指定緊急避難場所、指定避難所一覧

No.	施設名	所在地	電話番号	指定緊急避難場所	指定避難所
1	総合福祉会館(ゆうゆうセンター)	大字池田418-1	0745-23-0789	○	○
2	武道館	幸町11-14	0745-23-6100	○	○
3	葛城コミュニティセンター	大字曾大根783-1	0745-23-8001	○	○
4	片塩小学校	旭北町2-1	0745-22-0151	○	○
5	高田小学校	大中東町5-15	0745-22-0251	○	○
6	土庫小学校	土庫3-2-61	0745-22-0351	○	○
7	浮孔小学校	中三倉堂2-5-43	0745-22-0451	○	○
8	磐園小学校	大字有井1	0745-22-0551	○	○
9	陵西小学校	大字池田3	0745-22-0651	○	○
10	菅原小学校	大字根成柿436	0745-22-0751	○	○
11	浮孔西小学校	曾大根1-5-1	0745-53-0313	○	○
12	高田中学校	大中東町5-48	0745-22-0851	○	○
13	片塩中学校	中三倉堂2-9-28	0745-22-0951	○	○
14	高田西中学校	大字池田330	0745-22-7851	○	○
15	市立高田商業高等学校	材木町8-3	0745-22-2251	○	○
16	県立高田高等学校	磯野東町6-6	0745-22-0123	○	○
17	文化会館(さざんかホール)	本郷町6-36	0745-53-8200	○	○
18	総合公園コミュニティプール	大字西坊城414	0745-52-4700	○	○
19	菅原公民館	大字吉井77-1	0745-23-3561	○	○
20	【仮称】勤労青少年ホーム	大字野口20-1	0745-22-6045		

※各避難施設は、災害発生時の状況等に応じて、○の施設の中から、適宜に開設します。実際の開設状況は、市のホームページ等により確認してください。
「20.勤労青少年ホーム」は地震時には使用できません。

●南海トラフ巨大地震

奈良県内で想定される被害		
想定震度	震度5強から震度6強(1分から数分の揺れ)	
死者数	合計	約1,700人
負傷者数	負傷者	約18,000人
避難者数	1週間後(最大となる見込み)	約290,000人
建物被害棟数	全壊・全焼棟数	約47,000棟

※内閣府発表「中央防災会議 南海トラフ巨大地震の被害想定について(第二次報告)」を参照。
※大和高田市内で想定される被害は未発表。
※南海トラフ地震に関する最新情報はホームページに掲載しております。

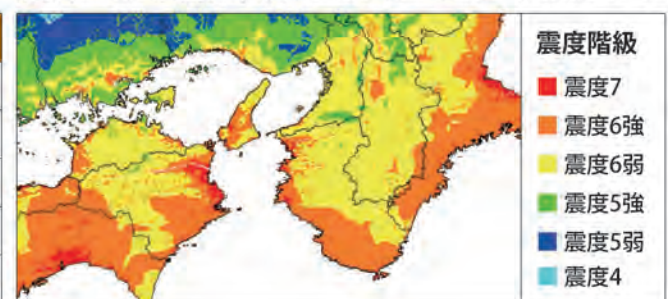
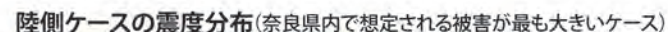
●液状化現象とは…

地下水位が高く、ゆるく堆積した砂地盤などが、地震により激しく揺らされると、土の粒子が水と混ざり合って一時的に液体のようになりやすくなります。これを液状化現象といい、一般的に埋め立て地や沼地跡など水分量が多い改変地での発生が多くみられますが、大和高田市内においても発生する可能性があります。



液状化が起こると発生する被害

- 地盤の支持力が低下することにより発生する、建物等の沈下や傾斜。
- 噴砂（水と砂が地中から噴き上げてくる現象）などによる被害。
- 地下に埋設された水道管・ガス管・電線の損傷による、ライフラインの寸断。



家族で防災に取り組みましょう

災害はいつ起きるかわかりません。被害を最小限に食い止めるためには、日頃からの備えが大切です。この洪水・地震ハザードマップを活用し、いざというときのためにどう行動するかを家族で話し合っておきましょう。また、洪水・地震ハザードマップを片手に、実際に避難場所・避難所まで歩いてみて、避難時に危険な場所がないか確認しましょう。

- ①連絡方法の確認
- ②非常持出品・備蓄品の確認
- ③家の中や周辺の対策
- ④ハザードマップで避難の必要性を確認
- ⑤避難場所・避難所まで実際に歩いてみる

地域ぐるみで取り組む防災・減災

災害発生時には、大和高田市をはじめ、警察・消防などの防災関係機関が全力をあげて対応にあたりますが、火災や道路の寸断・断水・停電など様々な被害が広い範囲で起きた場合は、対応が非常に困難な事態が予想されます。このような場合には、地域ぐるみで協力し合い、助け合うことが大切になります。日頃から地域の自主防災組織を結成して、防災知識を身につけることや、いざというときの役割分担を決めるなどして、地域の防災力を高めておきましょう。



要配慮者(災害時要援護者)について

要配慮者とは、年齢や障がい、言葉の違いなどによって災害発生時の対応に何らかのハンデを負っている人々のことです。一般に高齢者や障がい者、乳幼児や妊産婦、日本語を十分理解できない外国人の方々などが該当します。地域で協力しあいながら、近所の要配慮者の安否確認、避難施設への移動を支援しましょう。

高齢者・病人

- おぶって安全な場所まで避難する。
- 複数の介助者で対応する。



目の不自由な方

- 声をかけ情報を伝える。
- 誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持ってもらい、半歩先をゆっくり歩く。



肢体の不自由な方(車椅子)

- 階段では2人以上が必要。上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。
- 介助者が1人の場合、ひもなどを用意し、おぶって避難する。



耳の不自由な方

- 話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにする。
- 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。



非常持ち出し品・備蓄品の準備 ※感染症対策にも十分注意しましょう

災害の危険が迫っているときは、すぐに避難しなければいけません。避難する場合に備えて、リュックサックなどに必需品をまとめ、持ち出しやすい場所に保管しておきましょう。



非常持ち出し品

避難する場合に備えて、リュックサックなどにまとめて持ち出しやすい場所に保管しておきましょう。

食料	救急・安全対策	貴重品
☐ 飲料水(1人1日2〜3リットルを目安) ☐ 非常食(缶詰、乾パン、レトルト食品など) ☐ 携帯食(チョコレート、キャンディーなど) ☐ 粉ミルク、液体ミルク、哺乳瓶(赤ちゃんがいる場合)	☐ 常備薬(胃腸薬、かぜ薬など) ☐ 包帯、ガーゼ、ばんそうこう ☐ 傷薬、消毒薬 ☐ 持病のある方の薬、お薬手帳 ☐ ヘルメット、防災ずきん ☐ ホイッスル	☐ 現金(小銭) ☐ 預貯金通帳、印鑑 ☐ クレジットカード類 ☐ 健康保険証 ☐ マイナンバーカード、免許証など(本人確認できるもの)
衣類など	日用品など	
☐ 衣類(厚手の物と薄い物) ☐ 下着類 ☐ タオル、毛布 ☐ 手袋、軍手 ☐ 寝袋 ☐ 雨具	☐ ポリ袋(ビニール袋) ☐ 新聞紙 ☐ ろうそく、ライター ☐ ナイフ、缶切り ☐ ティッシュペーパー ☐ ウエットティッシュ ☐ 懐中電灯(予備電池)	☐ 携帯ラジオ(予備電池) ☐ 携帯電話(充電器・バッテリー) ☐ 筆記用具(油性マジック) ☐ 洗面用具 ☐ メガネ ☐ マスク ☐ 使い捨てカイロ ☐ 紙おむつ ☐ 生理用品 ☐ 布ガムテープ ☐ ロープ ☐ 地図(ハザードマップ)

備蓄品

日頃から、一週間分の食料と飲料水を備蓄品として常備しておきましょう。

食料	燃料・日用品など	
☐ 飲料水(1人1日3リットルを目安) ☐ 米(レトルトのご飯なども便利) ☐ 缶詰、菓子類 ☐ 粉ミルク、液体ミルク、離乳食	☐ カセットコンロ ☐ 予備のガスボンベ ☐ 毛布、寝袋 ☐ ブルーシート	☐ 割り箸 ☐ 衣類 ☐ 新聞紙 ☐ 簡易トイレ ☐ 布製ガムテープ ☐ キッチン用ラップ ☐ なべ

備蓄・消費・補充を繰り返す

ローリングストック(循環備蓄)を心がけましょう

ローリングストック(循環備蓄)とは、普段から使用する食材、加工品を多めに買って置き、使ったら使った分だけ買い足していくことで、常に一定量の食料を家庭に備蓄しておく方法のことを言います。この備蓄方法を行うことで、いざというときにも日常生活に近い食生活を送ることができます。

